

生産費を減らすことに成功!

表-5 直接的な経営費の比較 (単位:円)

項目	移植成苗ポット	乾田直播	湛水直播
種 苗 費	1,187	5,586	4,655
肥 料 費	9,251	9,182	9,903
農 薬 費	5,108	7,541	7,541
生産資材費他	21,639	12,109	12,589
合 計	37,185	34,418	34,688

実証した2つの技術と効果

- 1 発芽までの水管理法 (カルパー粉衣は無し) (播種量の適正化)
- 2 雑草の簡易発生予測法 (雑草を抑制し減収回避)

※ 普及センター：生産技術体系より

平成18年からの3年間、多くの試験・調査に基づき、直接費を低減する技術を数多く実証しました。今や直播栽培は「省力・多収・低コスト」を実現できる魅力的なコメづくりです。

作業機を効率的に利用

播種適期は7日間(乾田:5月5~11日、湛水:5月12~18日)で、天候などを考慮すると、作業可能面積は以下の通りです。

表-6 乾田・湛水直播の作業機の能率

作業機	作業幅	作業速度	理論作業量	圃場作業効率	圃場作業量	作業可能日数	作業可能面積
	m	km/時	ha/時	%	ha/時	日	ha
バーチカルハローシーダー	3.0	5.0	1.5	55	1.0	5.1	31.8
湛水土中施肥直播機	2.2	4.0	0.9	55	0.5	5.1	20.1

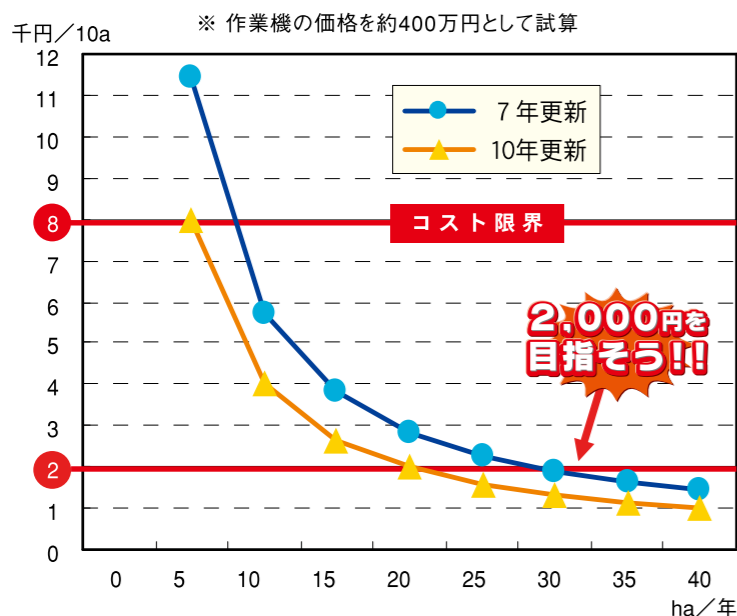


図-6 播種機の利用面積と10a当たり費用の負担額

播種機の減価償却費(1年間の負担額)は8千円/10aが限界です。

共同で導入を目指す場合は表-6に示した作業可能面積と耐用年数を大まかに算出し、負担金額を算定してください。



直播栽培の導入による経営改善の効果

1. 直播導入による経済効果

- (1) 直播栽培の導入により償却前所得の赤字が改善が期待できます。
- (2) 直播栽培は水田地帯での、輪作体系を確立するための1つの品目となります。
- (3) 育苗ハウスを有効利用することができます。

表-7 直播導入による経営改善効果 (単位:千円、時間)

経営形態	試算① H20 水稻8ha 秋小麦8ha 大豆4ha	試算② H21 資材高騰による影響を予測	試算③ H21 ②水稻部門 直播3ha 移植5ha	試算④ H21 ③の麦後に 白菜 3ha導入
農業粗収益	10,096	10,746	12,272	15,033
償却前農業所得	△1,091	△1,858	△1,209	△400
農外所得	10,661	10,661	10,661	10,661
総労働時間(h)	2,003	2,003	1,862	2,296

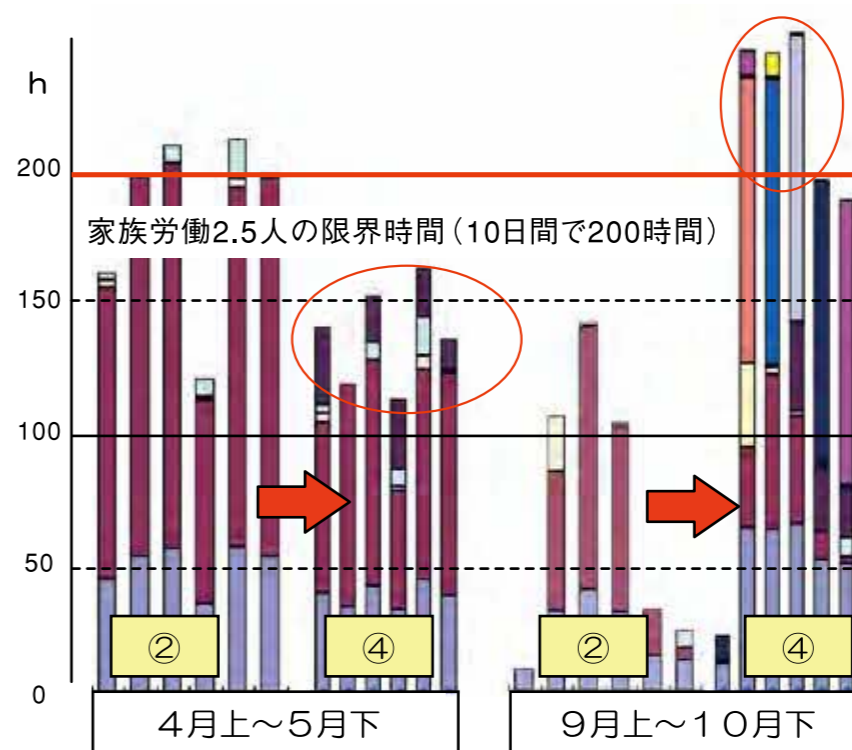
※ 営農Naviシステム・JAいわみざわ版で試算した数値。
 ※ 農外所得には産地づくり交付金、水田・畑作経営所得安定対策交付金が加算されている。
 ※ 乾田直播である。

直播栽培導入のポイント

- ① 水稻面積の約3割導入で、費用削減が期待できます!(ハウス1棟分の育苗を削減)
- ② 仲間づくりで機械費用を下げる事が可能です。(作業機の稼働率の向上)
- ③ ハウスの有効活用や、野菜の導入を検討するきっかけとなります。(所得の向上)

2. 直播導入による労働時間の変化

下の図は、表-7の試算②と試算④の旬別(10日間単位)の労働時間を、グラフで示したものです。家族労働力を超えずに、経営改善がなされる結果がでています。



直播栽培の導入結果

- 1 春の2ヶ月の労働が改善され省力化が実現した。
- 2 秋の2ヶ月の労働は増加し雇用が必要であるが、農業所得は向上した。



このように直播導入の検討には、経営試算が大切です。

図-7 試算②と試算④の春と秋の労働時間比較